

ハイチ大地震

首相「死者10万人超」

国際救援活動が本格化

【ラスルス（ハイチ東部）共同】マグニチュード（M）7・0の大地震に直撃されたカリブ海のハイチのベリブ首相は13日、地震による死者は10万人を大幅に上回るとの見通しを示した。米CNNテレビが報じた。AP通信によると、ハイチの上院議員は50万人が死亡した可能性があると述べた。（5面に関連記事）

ロイター通信によると、ハイチの赤十字当局者は14日、4万5千〜5万人が死亡したとみられると語った。負傷したり、家を失った人の上る可能性があるという。

いづれも死者数の根拠には触れていないが、人口約200万人の首都ポルトープランスでは医療施設の大半が倒壊し水道や電気が断たれていると述べた。

医師ら3人を

AMDA派遣

国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市）は14日、ハイチ地震の被災者救援のため医師ら3人を派遣すると決めた。日本時間の17日に現地入りし、カナダ支部の看護師らとともに、医療ニーズの調査などに当たる。2週間程度の予定。

AMDA社会開発機構職員鈴木梓さん（31）

岡山から2人が14日夕、同市を出発。鈴木さんは「他国の支援チームとも連携し、迅速な情報収集に努めた」と話した。成田空港で沖繩市の医師と合流する。

INUSTAH要員16人の死亡を確認、約150人が不明と述べ、PKO史上、最悪の被害の可能性を指摘した。MINUSTAHのアナヒ代表死亡の情報もあるが確認されていない。

フランス、アイスランドなどの救援隊は14日、現地入りし、既に到着している中国、米国の救援チームも含め国際的な救援活動が本格化。ロイター通信によると米軍当局者は14日、空挺部隊の兵士最大3500人を派遣すると語った。

被災地では治安悪化も懸念されており、国連PKO局のミユレ事務次長補が同日現地入りし、MINUSTAHの態勢を早急に立て直し、救援活動を支援する方針だ。

被災地では治安悪化も懸念されており、国連PKO局のミユレ事務次長補が同日現地入りし、MINUSTAHの態勢を早急に立て直し、救援活動を支援する方針だ。

【ラスルス（ハイチ東部）共同】マグニチュード（M）7・0の大地震に直撃されたカリブ海のハイチのベリブ首相は13日、地震による死者は10万人を大幅に上回るとの見通しを示した。米CNNテレビが報じた。AP通信によると、ハイチの上院議員は50万人が死亡した可能性があると述べた。（5面に関連記事）

ロイター通信によると、ハイチの赤十字当局者は14日、4万5千〜5万人が死亡したとみられると語った。負傷したり、家を失った人の上る可能性があるという。

いづれも死者数の根拠には触れていないが、人口約200万人の首都ポルトープランスでは医療施設の大半が倒壊し水道や電気が断たれていると述べた。

被災地では治安悪化も懸念されており、国連PKO局のミユレ事務次長補が同日現地入りし、MINUSTAHの態勢を早急に立て直し、救援活動を支援する方針だ。

被災地では治安悪化も懸念されており、国連PKO局のミユレ事務次長補が同日現地入りし、MINUSTAHの態勢を早急に立て直し、救援活動を支援する方針だ。